



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 Oak キャピタル株式会社

コード番号 3113 URL <http://www.oakcapital.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 竹井 博康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 秋田 勉

TEL 03-5412-7474

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,591	△27.3	1,399	△17.1	1,382	△18.2	1,240	△21.3
27年3月期第3四半期	6,317	74.2	1,687	133.2	1,689	133.7	1,575	145.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	23.89	23.38
27年3月期第3四半期	33.53	32.68

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	8,639	8,362	96.6	155.67
27年3月期	7,579	6,932	91.3	142.19

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 8,350百万円 27年3月期 6,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想の算定が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	53,675,037 株	27年3月期	48,701,620 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	32,542 株	27年3月期	30,136 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	51,913,914 株	27年3月期3Q	46,984,032 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

特記すべき事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成27年4月1日から平成27年12月31日まで)の業績は、売上高45億91百万円、営業利益13億99百万円、経常利益13億82百万円、四半期純利益12億40百万円となりました。

(当第3四半期会計期間における投資銀行業務の実績状況)

国内経済は大企業を中心に、業績は概ね堅調に推移しております。一方、金融市場におきましては、中国経済の減速や原油価格の下落により不安定な状況が続いております。

当社は、新興市場や中小型株式市場の上場企業向けの資本政策支援を目的としたエクイティファイナンスの引受けに取り組んでおりますが、当ファイナンスは投資先企業の成長戦略や事業戦略を軌道に乗せる重要な施策であり、株式市場の変動に左右されることなく業績向上を目指す企業の成長戦略支援、事業戦略支援、IR支援を実施しております。

また、その成果が当社の評価に繋がってくるものと考えております。

(投資分野の多角化に向けて)

当社は、成長し続ける投資銀行を目指すと共に、企業価値を向上させることが株主へのコミットであると認識しております。当社の投資銀行業務は、これまで上場企業向けエクイティファイナンス投資を重点におこなってまいりましたが、投資分野の多角化を図ることで安定した経営基盤を構築してまいります。

(事業投資の開始)

リゾート投資、事業用不動産投資を目的に米国ハワイ州にあるゴルフ場および同敷地内にある分譲用土地(全体の敷地は東京ドーム35個分)を買収いたしました。来期よりハワイリゾート事業投資として米国人向けにゴルフ会員権および高級分譲別荘の販売を開始いたします。

(ブランド投資の展開)

創業1569年のオーストリア老舗ベーカリー&スイーツ「ホーフベッカライ エーデッガー・タックス」を日本で展開する株式会社WERKES Sを買収いたしました。既存投資先のフランス銀製品ブランドのクリストフルと同様にブランド投資分野として展開してまいります。

このような活動の結果、キャピタルゲインは21億16百万円となり、投資収益率は46.1%となりました。

なお、これらの詳細は、以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)
投資収益(千円)	4,588,543	6,309,271	8,307,363
投資原価(千円)	2,471,642	3,945,811	5,194,515
キャピタルゲイン(千円)	2,116,901	2,363,459	3,112,848
収益率(%)	46.1	37.5	37.5
営業利益(千円)	1,399,383	1,687,039	2,122,585
四半期(当期)純利益(千円)	1,240,182	1,575,184	1,809,145

・当第3四半期会計期間の投資実績

株式投資

該当事項はありません。

事業投資及びブランド投資

ビックアイランドカントリークラブ	ハワイのリゾートゴルフ場及び分譲用不動産用地
ホーフベッカライ エーデッガー・タックス	オーストリア老舗ベーカリー

・営業投資有価証券残高

	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業投資有価証券(千円)	2,977,167	3,602,745	2,732,668

・エクイティファイナンス引受残高

	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
株式・新株予約権(千円)(注)	7,702,182	6,721,080	3,768,647

(注) エクイティファイナンスの引受け及び新株予約権の行使により取得した株式の貸借対照表計上額並びに、エクイティファイナンスの引受けにより取得した新株予約権の未行使残高の合計額を記載しております。

	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	前事業年度 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
総資産(千円)	8,639,780	7,406,011	7,579,945
純資産(千円)	8,362,654	6,714,771	6,932,902
自己資本比率(%)	96.65	90.49	91.30
ROE(%)	16.24	28.92	32.56
ROA(%)	15.29	26.73	30.25
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	23.89	33.53	38.20
1株当たり配当額(円)	—	—	5.00
従業員1人当たり営業利益(千円)	69,969	88,791	101,075
従業員数	20	19	21

(注) 前第3四半期累計期間と比較して1株当たり四半期純利益が減少しているのは、当第3四半期会計期間中の投資回収が減少したことによります。

(投資銀行業務の役割と今後の事業展開)

当社は新興市場や中小型株式市場の上場企業向けのエクイティファイナンス引受け業務を通して、企業の成長を支援することが当ファイナンス投資の役割としております。

当社の引受け対象となる時価総額100億円未満の上場企業は、公募による資金調達が可能に出来ず、第三者割当増資の手法で資金調達をしております。また、長引く景気の低迷で事業再生に直面している企業も少なくありません。当社が引受けるエクイティファイナンスが、投資先企業の企業価値向上となる成長資金として活かされることです。

また、当社のイノベーションは投資分野の多角化です。従来の株式投資に加え、事業投資、ブランド投資、事業プロジェクト投資など多角的な収益構造を図ることで、成長力、収益力、安定力をより強固にして株主価値を高めていく所存です。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産につきましては、前期末に比べ、10億59百万円増加し86億39百万円となりました。増加した主な要因は、投資活動により短期貸付金及び関係会社株式が増加したためであります。負債は、前期末に比べ、3億69百万円減少し2億77百万円となりました。純資産は、前期末に比べ、14億29百万円増加し83億62百万円となりました。増加した主な要因は、当社株主に割り当てた第9回新株予約権の権利行使及び四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想の算定が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

また、通期業績におきましては増収増益を目指し、配当性向の向上など、株主還元の実現に取り組み、株主価値向上に努めてまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,237,979	3,550,006
売掛金	5	50,983
営業投資有価証券	2,732,668	2,977,167
短期貸付金	405,000	1,540,809
その他	56,821	31,161
貸倒引当金	△295,000	△295,000
流動資産合計	7,137,474	7,855,129
固定資産		
有形固定資産	58,547	61,913
無形固定資産	3,340	2,931
投資その他の資産		
投資有価証券	20,163	16,102
関係会社株式	0	330,000
関係会社社債	200,000	-
投資不動産	313,545	313,545
その他	41,971	41,200
貸倒引当金	△200,000	-
投資その他の資産合計	375,680	700,849
固定資産合計	437,568	765,694
繰延資産	4,902	18,956
資産合計	7,579,945	8,639,780

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	24,283	52,960
未払法人税等	186,366	79,305
繰延税金負債	290,230	-
その他	50,842	29,338
流動負債合計	551,722	161,604
固定負債		
繰延税金負債	4,072	2,698
退職給付引当金	81,469	102,969
資産除去債務	9,512	9,608
その他	266	245
固定負債合計	95,320	115,521
負債合計	647,043	277,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,556,678	4,282,010
資本剰余金	3,721,364	3,206,506
利益剰余金	△961,310	1,275,682
自己株式	△11,670	△12,326
株主資本合計	6,305,062	8,751,872
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	615,451	△401,534
評価・換算差額等合計	615,451	△401,534
新株予約権	12,387	12,316
純資産合計	6,932,902	8,362,654
負債純資産合計	7,579,945	8,639,780

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	6,317,593	4,591,194
売上原価	3,945,811	2,471,642
売上総利益	2,371,781	2,119,552
販売費及び一般管理費	684,742	720,168
営業利益	1,687,039	1,399,383
営業外収益		
受取利息	4,844	7,087
有価証券利息	3,164	-
その他	3,004	870
営業外収益合計	11,012	7,958
営業外費用		
株式交付費償却	1,078	2,151
社債発行費等償却	6,937	6,051
為替差損	-	16,478
その他	345	15
営業外費用合計	8,360	24,696
経常利益	1,689,690	1,382,645
特別利益		
固定資産売却益	12	-
訴訟損失引当金戻入額	15,000	-
特別利益合計	15,012	-
特別損失		
固定資産売却損	405	658
固定資産除却損	1,634	2
その他	148	-
特別損失合計	2,187	661
税引前四半期純利益	1,702,515	1,381,984
法人税、住民税及び事業税	127,874	141,825
法人税等調整額	△542	△24
法人税等合計	127,331	141,801
四半期純利益	1,575,184	1,240,182

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,556,678	3,721,364	△961,310	△11,670	6,305,062
当第3四半期累計期間中の 変動額					
新株の発行(新株予約権 の行使)(注)1	725,331	725,331			1,450,662
剰余金(その他資本剰余 金)の配当		△243,357			△243,357
欠損填補(注)2		△996,810	996,810		—
四半期純利益			1,240,182		1,240,182
自己株式の取得				△742	△742
自己株式の処分		△21		85	64
当第3四半期累計期間中の 変動額合計	725,331	△514,857	2,236,992	△656	2,446,809
当第3四半期会計期間末残 高	4,282,010	3,206,506	1,275,682	△12,326	8,751,872

(注) 1. 第8回新株予約権及び第9回新株予約権の行使によるものであります。

2. 平成27年6月25日開催の第154期定時株主総会決議に基づき、その他資本剰余金996,810千円を繰越利益剰余金に振替え、欠損の填補を行いました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は投資銀行の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。